

運河ルネサンスによる取組（品川浦・天王洲地区）

＜平成31年度＞

① TENNOZ PIER（天王洲ピア） 所有者：中川特殊鋼(株)



天王洲ピア

平成25年10月に天王洲運河にビジター棧橋を設置。屋形船等の運河や港内クルーズ等の発着場所として活用している。

隣接した公開空地では、毎年7月末、天王洲アイルの夏祭りのひとつ、キャナルガーデンパーティーが盛大に催されている。

② 舟運社会実験との連携 （天王洲ピア）

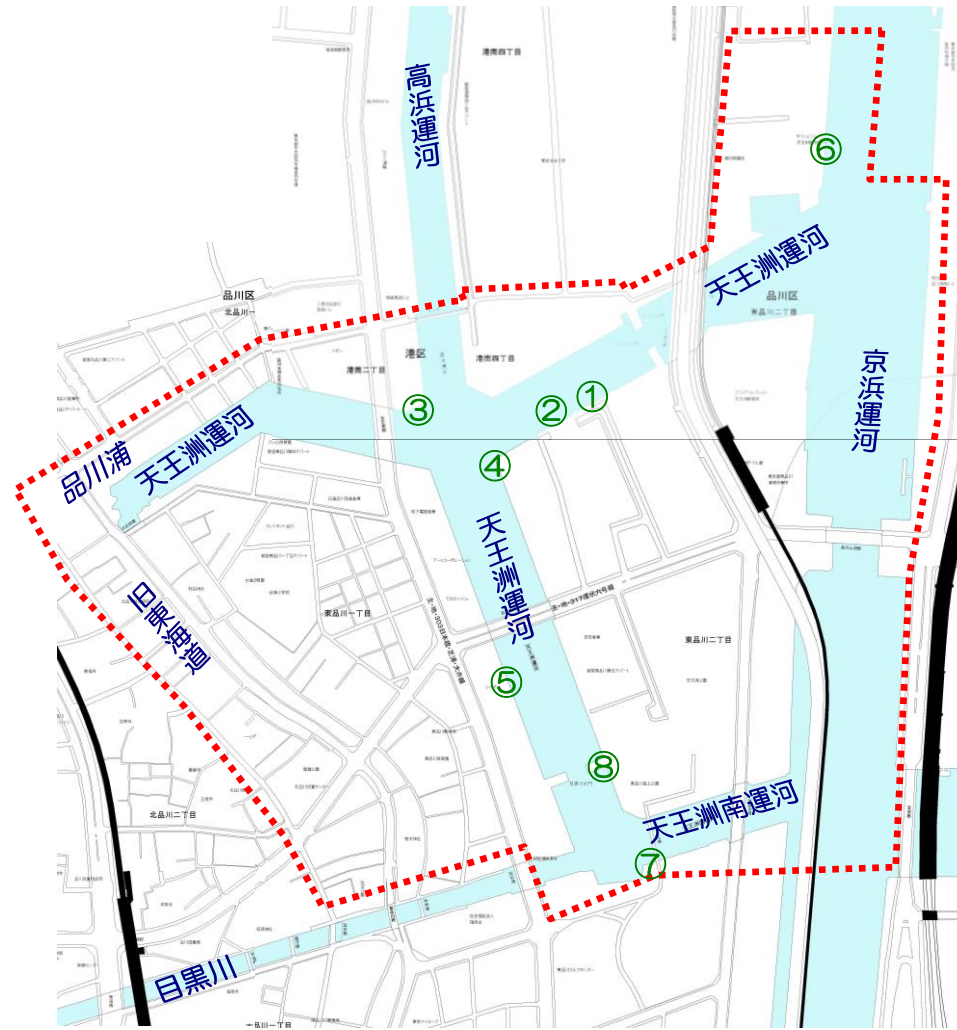


広報誌の作成

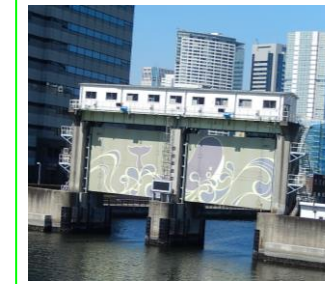
平成28年度より国土交通省及び東京都の舟運社会実験に協力し、天王洲総合開発協議会は、「地域の応援団」として参加した。

平成29年度以降も引き続き東京都の舟運社会実験において天王洲ピア棧橋の提供を行っている。

天王洲総合開発協議会は、ガイドブック「舟から見た東京」を発行するなど、舟運活性化事業へ協力している。



⑧ 目黒川水門



目黒川水門

運河の景観向上を目指し目黒川水門の描き替えを提案。舟運観光にも役立っている。これを機に始まった「しながわ運河まつり」は今年12年目を迎えた。

⑦ 東品川海上公園仮設棧橋 所有者：NPO 法人東海道品川宿

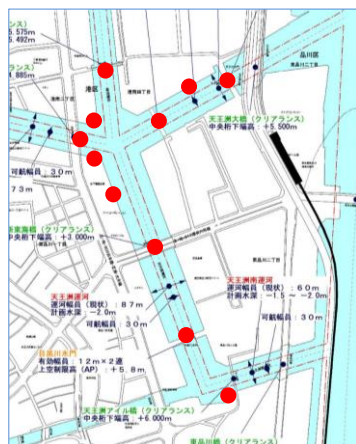
平成21年8月にNPO 法人東海道品川宿が設置した仮設棧橋。Eボートの体験やイベント時の運河クルーズの発着として活用している。勝島地区の会員とも協力して体験会等を行っている。



東品川海上公園仮設棧橋

③ 運河安全航行の横断幕を更新 設置者：品川浦・天王洲地区運河ルネサンス協議会

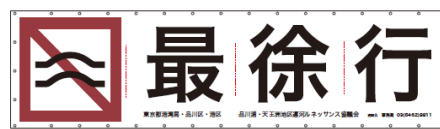
平成19年2月に、運河ルネサンス協議会が安全航行の啓蒙のため設置し、維持管理を行っている。横断幕については平成28年度に更新を行った。



横断幕設置箇所



更新した横断幕



更新した横断幕のデザイン

④ 水上レストラン・ビジター棧橋・移動型多目的施設 （WL2） 所有者：寺田倉庫

平成18年2月に、運河ルネサンスの規制緩和の1号として水上レストランとビジター棧橋（WL1）を設置。平成27年度に、移動型多目的施設 WaterLine2、地元水域利用者が使える棧橋を設置。平成28年度から棧橋のプレ運用を開始し、平成31年度は、天王洲キャナルフェス等の水辺を生かしたイベントを実施した。隣接の移動型の多目的施設（4つ）についても、イベント時に使用している。



WL2 棧橋

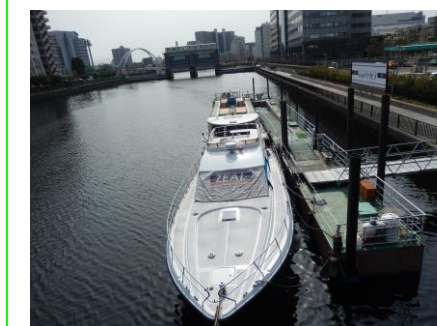


水上フードコート

⑤ 天王洲ヤマツピア 所有者：(株)天王洲ヤマツピア

平成18年7月に、ウェディング棧橋として設置。

平成20年3月に、棧橋の用途目的に不定期航路事業を追加し活用している。結婚式などのパーティークルーズ等に利用していた実績がある。



天王洲ヤマツピア

⑥ マリンステーション（棧橋） 所有者：ワールドシティアタワーズ

平成24年7月に、運河ルネサンスの棧橋として追加。チャータークルーズの乗降棧橋として住民等が活用している。



ワールドシティアタワーズ棧橋

品川浦・天王洲地区 運河ルネサンス協議会

【協議会の活動】
H17.4 協議会設立
H17.6 推進地区指定
H24.7 運河ルネサンス地区の拡大